



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋  
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹  
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,802	14.2	720	92.5	816	72.7	474	184.3
23年3月期第1四半期	37,479	10.6	374	△48.3	472	△39.3	166	△53.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 425百万円 (351.0%) 23年3月期第1四半期 94百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.52	—
23年3月期第1四半期	1.58	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	81,765	17,439	20.8
23年3月期	76,925	17,555	22.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 16,973百万円 23年3月期 17,078百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	8.2	1,300	133.8	1,200	73.6	700	—	6.66
通期	174,000	6.9	3,200	101.4	3,000	68.2	1,700	—	16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	109,282,837 株	23年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,247,756 株	23年3月期	4,247,756 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	105,035,081 株	23年3月期1Q	105,809,091 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2 P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2 P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3 P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3 P
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4 P
3. 四半期連結財務諸表等	5 P
(1) 四半期連結貸借対照表	5 P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7 P
(3) 継続企業の前提に関する注記	9 P
(4) セグメント情報等	9 P
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10 P

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による社会インフラの毀損、福島第一原発事故による放射能汚染や風評被害、その後の電力不足問題などにより大きな混乱を余儀なくされました。また先行きの見通しも依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、海外における魚食志向の高まりや新興国の経済成長などの影響により水産物全般の買付価格が上昇する一方、国内における消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向、低価格志向が震災後さらに顕著となる厳しい展開となりました。

このような状況のもとで当社グループは、震災のダメージをいち早くリカバリーすることを第一に、引き続き安心・安全な食品の提供を責務としてグローバル戦略と加工戦略の更なる推進による事業基盤の強化と収益の確保を重視した積極的かつ効率的な運営に努めました。

水産商事事業セグメントでは、震災や放射能汚染の影響により冷凍魚への需要が高まり、国内市況が全般に堅調推移するなか、かれいなどの北洋魚やさけ、海老などの加工原料の安定的な供給と付加価値製品の拡販に努めるとともに、昨年当社グループに加わった海洋フーズ㈱やエス・ティー・アイ㈱が収益に貢献したことにより、売上、利益とも前年同期を上回りました。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種・生食商品や煮魚・焼魚などの加熱用商品の拡販に努めた結果、売上、利益とも前年同期を上回りました。調理冷凍食品は震災や節電対策の影響により消費者の内食傾向が強まるなか量販店やコンビニ向けに水産フライ類などの販促に努めた結果、売上、利益とも前年同期を上回りました。

常温食品事業セグメントでは、震災により一部の協力工場の生産設備が被災したため十分な商品供給に支障を来すなか、畜肉缶詰などの新製品の開発とツナ缶などの輸入缶詰や海産珍味類などの拡販を図りましたが、売上、利益とも前年同期に及びませんでした。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めましたが、売上、利益とも前年同期並みにとどまりました。一方、冷蔵運搬船事業は、期初に市況回復の兆しが見られましたが、主たる貨物である中南米産バナナの不作と北アフリカ諸国での消費不振などから、依然として先行きに予断を許さぬ状況で推移しました。この結果、前年同期に比べ売上は下回りましたが、一層の経費削減に努め利益は改善しました。

鯉・鮪事業セグメントにおける海外まき網事業は、かつおの漁獲が低調に推移したことから売上は前年同期を下回りましたが、減価償却費などの経費減により利益は上回りました。本まぐろの養殖事業は、前年同期を下回る水揚げ量と飼料価格高騰などによる経費の増加から、売上、利益とも前年同期を下回りました。かつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充と昨年設立した極洋フレッシュ㈱による生やチルド商品の開発、外食ルートや量販店などへの拡販に努め、売上は前年同期を上回りましたが、原料高などの影響により利益は下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は428億2百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益は7億20百万円(前年同期比92.5%増)、経常利益は8億16百万円(前年同期比72.7%増)、四半期純利益は4億74百万円(前年同期比184.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ48億40百万円増加し、817億65百万円となりました。

流動資産は、売掛金、商品及び製品が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ50億55百万円増加し、612億1百万円となりました。固定資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2億14百万円減少し、205億64百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加やコマーシャル・ペーパーの発行などにより、前連結会計年度末に比べ49億57百万円増加し、643億26百万円となりました。

純資産は、配当金の支払による利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少し、174億39百万円となりました。

この結果、自己資本比率は20.8%(前連結会計年度末比1.4ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は予想の範囲内で推移しており、第2四半期及び通期の連結業績予想に関しまして、先行きは不透明ではありますが、平成23年5月13日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,382	3,003
受取手形及び売掛金	18,884	19,678
たな卸資産	29,681	33,824
その他	4,240	4,741
貸倒引当金	△43	△45
流動資産合計	56,145	61,201
固定資産		
有形固定資産	12,331	12,066
無形固定資産		
のれん	352	332
その他	425	405
無形固定資産合計	777	737
投資その他の資産		
投資有価証券	4,035	4,052
その他	3,656	3,730
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	7,669	7,760
固定資産合計	20,779	20,564
資産合計	76,925	81,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,689	7,648
短期借入金	36,102	35,747
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
未払法人税等	1,072	321
引当金	718	438
その他	5,607	6,067
流動負債合計	50,190	55,222
固定負債		
長期借入金	3,622	3,426
退職給付引当金	4,350	4,544
その他の引当金	88	96
資産除去債務	49	49
その他	1,067	987
固定負債合計	9,178	9,103
負債合計	59,369	64,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,119	12,068
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,785	17,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△742	△732
繰延ヘッジ損益	83	30
為替換算調整勘定	△48	△60
その他の包括利益累計額合計	△707	△762
少数株主持分	477	466
純資産合計	17,555	17,439
負債純資産合計	76,925	81,765



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	37,479	42,802
売上原価	33,064	37,653
売上総利益	4,414	5,149
販売費及び一般管理費	4,039	4,428
営業利益	374	720
営業外収益		
受取利息	21	22
受取配当金	63	73
為替差益	44	58
その他	61	55
営業外収益合計	190	210
営業外費用		
支払利息	83	98
その他	8	15
営業外費用合計	91	114
経常利益	472	816
特別利益		
固定資産処分益	4	—
その他	1	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産処分損	1	0
投資有価証券評価損	95	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
その他	0	0
特別損失合計	124	3
税金等調整前四半期純利益	355	813
法人税、住民税及び事業税	80	317
法人税等調整額	64	28
法人税等合計	145	346
少数株主損益調整前四半期純利益	209	467
少数株主利益又は少数株主損失(△)	42	△7
四半期純利益	166	474

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	42	△7
少数株主損益調整前四半期純利益	209	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163	10
繰延ヘッジ損益	△27	△52
為替換算調整勘定	76	0
その他の包括利益合計	△115	△41
四半期包括利益	94	425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18	419
少数株主に係る四半期包括利益	76	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流サービス	鰹・鮪	その他	計	調整額(注)	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額
売上高									
外部顧客への売上高	17,025	9,737	3,523	1,186	5,991	14	37,479	—	37,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,646	426	56	206	315	191	3,843	△3,843	—
計	19,672	10,164	3,579	1,393	6,306	206	41,322	△3,843	37,479
セグメント利益又は損失(△)	318	54	90	△54	48	29	485	△111	374

(注) セグメント利益の調整額111百万円には、のれんの償却額3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用122百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流サービス	鰹・鮪	その他	計	調整額(注)	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額
売上高									
外部顧客への売上高	21,248	10,850	3,289	1,097	6,300	15	42,802	—	42,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,154	426	56	240	300	219	4,397	△4,397	—
計	24,403	11,276	3,346	1,337	6,601	234	47,200	△4,397	42,802
セグメント利益	589	85	9	49	22	33	789	△68	720

(注) セグメント利益の調整額68百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用102百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当する事項はありません。